

砥山農業クラブが「農業賞」受賞

第7回コープさっぽろ農業賞

第7回コープさっぽろ農業賞の表彰式が12日、札幌パークホテルで開かれ、砥山農業クラブが農業交流賞(札幌市長賞)を受賞しました。表彰式には代表の瀬戸修一さん(砥山ふれあい果樹園)と奥さんのメラルさん、桜井学さん(八剣山果樹園)の3人、八剣山発見隊の関係者も出席して喜びを分かち合いました。



農業交流賞を受ける瀬戸修一代表

同農業賞は生産者と消費者の橋渡しをすることで北海道の一次産業(農業、漁業)の生産者を励まそうと2004年に各分野の代表を網羅するコープさっぽろ農業賞実行委員会を設置してスタートしました。表彰は、消費者のためになっているかの目線のもと優秀な生産や交流実績のある農業者、漁業者を対象としています。今回の交流の部では17件の応募・推薦があり、見事、砥山農業クラブが受賞に輝きました。

砥山農業クラブは、衰退傾向の札幌市南区の農業を活性化し、立て直そうと2000年8戸の農家で結成、さまざまな取り組みを始めました。2003年には小学生親子を対象にした農業小学校を開設。農家の人たちが先生役となって、5月から10月までの毎月1回、さまざまな農業体験をしてもらい、農業や食の大切さ、理解を深めるうえで大きな役割を果たしています。また八剣山発見隊と

協力して、サクランボまつりの開催や簾舞の通行屋祭りなど地域のイベントに参加するなど、地域の活性化の盛り上げに一役買っています。

以前、この地域は、定山溪方面への単なる通過地域でした。今では季節ごと

に、大勢の市民が立ち寄る地域になりつつあります。定山溪温泉や小金湯温泉ともイベントなどでさまざまな協力をしています。札幌の市民、消費者がこれらの地域を訪れ、農業体験などを通

じて癒しの場としているなど、砥山農業クラブが市民(消費者)と農業者を結びつける取り組みをしたことで、都市近郊農業と市民の望ましい在り方を提示、農業賞ではこうしたことが評価されたと思われま



表彰式後の交流会で、瀬戸さんはメラルさんとともに壇上に立ち、受賞に感激の面持ちで感謝の言葉を述べました。それとともに10月末、札幌南部を襲った湿雪で、ビニールハウスや果樹に大きな被害が出ましたが、農業小学校の卒業生親子など、大勢の市民ボランティアが連日のように駆け付け、復旧作業を手伝ってくれたことに、「本当にありがたい。これこそ交流の成果だと思えます」と感謝の意を表していました。

砥山農業クラブの構成は次の方々です

上山農園	上山 雅彦
桜井農園	桜井 信一
高島観光果樹園	高島 誠
砥山ふれあい果樹園	瀬戸 修一
豊平川ファーム	土田 仁
西本果樹園	西本 恵美子
八剣山果樹園	桜井 学
湯沢園芸	湯沢 啓

(敬称略)



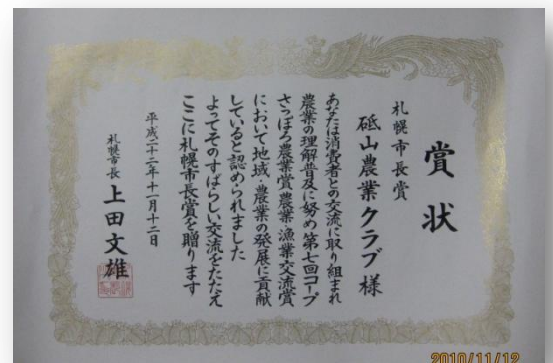
農業賞実行委員長のあいさつ



大賞に輝いたノースプレインファーム(株)



各部門の受賞者



2010/11/12



受賞を喜ぶ関係者



インタビューを受ける瀬戸代表夫妻

発行:八剣山発行隊(事務局長 瀬戸修一)

〒061-2275 札幌市南区砥山 84 番地

☎・FAX 011-596-2694

E-mail toyamafureai@gol.com

URL <http://hakkenzan.com/>